



“源溪山だより”

https://chouanji.p-kit.com/ 令和7年8月①
住職 恩田仁志 gen-chouanji@aka2.gmob.jp



◆「戦争しない」を続けるために

当山でご供養している位牌です。69名の戒名が刻字されています。これは先の大戦において、日本のために戦ってなくなられた諸英霊です。



今年は戦後80年という節目の年。テレビや新聞でも特別版の報道がすでに多くありました。今月もまた、この戦後80年というキーワードが目や耳に入ってくることでしょう。

長安寺檀家のうちの69名という数字は、相当数であると感じます。これまでお話しを伺った中には遺骨や遺品がかえってきた方もあれば、通知だけで何一つかえってこなかった方も多くありました。

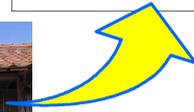
朝ドラ「あんぱん」の中で戦場の場面もありましたが、もちろん実際には映像にできないさらに厳しい状況であったことは想像に難くありません。

この80年という節目の年であることから、ご遺族がご供養のお勤めにお参りの方もありました。

本年のお盆には、施食棚とは別に供養棚を設けます。太平洋戦争だけではなく、それ以前の戦争で亡くなられた方々も多くあります。お盆のご本尊様への報恩のお参りに合わせ、どうぞ手をあわせてください。

今の私たちの暮らしがあることへの感謝や、決して間違った方向に進まないことを願う、また誓う気持ちなど伝えましょう。

すべての川は
海に向かって流れ
ひとつにとけ合い
世界を結ぶ
坂村真民



先月②号で、「水五訓」を紹介しました。この詩も、異なる源から流れ出ても、ひとつの世界に和する水の姿から、平和を願う気持ちが表れています。

今月の塔婆裏文は、「山川異域 風月同天」という句から選びました。

「山川 域を異にすれど 風月 天を同じゅうす」と読みます。鑑真が日本に渡航する際、長屋王が贈った言葉だそうです。住むところは違っていても同じ空の下でつながっている。国や文化が違って、人々は互いに支え合い、助け合えるとの意味を表しています。

